

放射能測定結果(試験焼却後測定)

富山地区広域圏事務組合

排ガス中の放射性セシウム測定結果

試料採取日 平成24年12月20日の測定結果

単位:ベクレル/ノルマル立方メートル

試料名	放射性セシウム濃度	セシウム134	セシウム137
排ガス(ろ紙部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 1号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(ろ紙部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)
排ガス(捕集水部) 2号炉	ND(<0.4)	ND(<0.2)	ND(<0.2)

* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ0.2Bq/Nm³。

* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

排ガス中の放射性物質をフィルターによるろ過捕集、吸収瓶による液体捕集で試料ガスを捕集します。

測定機関:日本海環境サービス(株)

* 空気中の放射性物質の濃度限度

^{134}Cs の濃度(Bq/m³)/20(Bq/m³) + ^{137}Cs の濃度(Bq/m³)/30(Bq/m³) ≤ 1

なお、上記の濃度限度は、同一人が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む空気を摂取したとしても、被ばく線量が一般公衆の許容値(年間1mSv)以下となる濃度として設定されたものです。

(放射線審議会基本部会「外部被ばく及び内部被ばくの評価法にかかる技術的指針」(平成11年4月))。